

平成 20 年度 HPF 推進協議会総会議事録

日時：平成 21 年 3 月 23 日(月) 13:30～17:00

場所：独立行政法人海洋研究開発機構 横浜研究所
シミュレータ研究棟 1 階 大会議室

出席者：幹事：津田、渡邊、島崎、岡部、坂上、福田、岩下、秦(記)

正会員：中村(孝)、林、村井、福井

準会員：廣瀬、布広、北脇

委任状：幹事：石黒

正会員：藤田、谷、中村(純)

(敬称略)

議事：

1. 開会

本日は正会員（幹事含む）の総数 38 名中、出席 12 名、欠席 26 名、
欠席者中の委任状提出者が 4 名。出席と委任状提出者の合計が 16 名で正会員の 3 分の 1 に
達したため本日の総会は成立した。

2. 会長挨拶

津田会長より挨拶があった。

3. HPF 事業報告・会計報告・事業計画・予算案

会計担当幹事の渡邊より HPF 事業報告、会計報告および事業計画、予算案の提案があり、
了承された。

- ・平成 20 年度収支決算の結果、約 500 万円の残高がある。
- ・これまでは寄付による収入があったが、今後は見込めない。
- ・21 年度の事業計画
 - HPF のガイドブックを作成予定。予算は 100 万～200 万円。
 - HPF 講習会の開催。計算科学振興財団で 7 月に予定。
 - 新しい並列言語仕様 XcalableMP(XMP) の検討に参加。

4. 言語動向

HPF を取り巻く現状報告と、CAF(Fortran20xx)、XMP の紹介があった。

- ・XMP は HPF と機能的に大きく変わらないように考えられている。
- ・XMP は今年仕様を決め、来年度処理系の β 版が出る予定。
- ・XMP の仕様検討には、アプリケーション側の人間ももっと参加すべき。

5. HPF 推進協議会の今後

HPF 推進協議会の今後の活動について以下の議論があった。

- ・ HPF の機能の多くを継承している XMP の動向を見て、いずれは XMP をサポートする会に移行するという方向もあるのではないか。
- ・ より広い意味での言語の研究会的な位置付けにすべきか。
- ・ 次の段階に行くとしても、一度 HPF 推進協議会を解散すべきでは。
- ・ あと 2 年、XMP の処理系が出来るまで HPF 推進協議会の名は残し、2 年後に名称も含め組織の再編を検討する。

(以上)